

野木小学校 同窓会報

第 28 号
平成 30 年 1 月

野木小学校同窓会編集部



ご挨拶

第59回卒(昭和43年)
同窓会会長(堤) 井上 秀 司

野木小学校同窓会報第二十号の発刊に当たり一言ご挨拶申し上げます。会員各位におかれましては、益々お元気でそれぞれのお立場でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、当会への深いご理解、ご協力を賜っておりますこと、母校野木小学校や同窓生を本当に慈しむ心を感じております。心より厚く御礼申し上げます。

さて、同窓会の活動といえは先ず「会報」の発行であります。毎年代別にご寄稿下さる方々の、思い出や、近況等を掲載させていただき、

好評を得ていると思っております。原稿をお願いしますと、ご多忙にも関わらず、快くお引き受け戴いております、ありがたい限りでございます。そのほかの事業はと申しますと、特に何も出てこない、やっけないなど恐縮し、反省している次第です。現役小学生に對しましては、その成長をサポートし、優しく導いて下さっている先生方がおいでです。地域の皆様も、三世交代し、流行事参加や、学校と地区の合同体育大会の開催、ふれあい農園など、様々な形で温かく子供たちを包んでくださっ

野木は心のふるさと

野木小学校校長 渡邊 奈緒美



今年四月に野木小学校校長として赴任させていただきました。同窓会や野木地区の皆様にはいろいろな場面でご協力やご支援を賜り心より感謝しております。ありがとうございます。

さて、野木小学校の和室には歴代の校長先生方の写真が飾られております。四月、入学式の準備のときにある子どもが「先生は野木小学校初の女性校長です。」とにつこりと教えてくれました。「和室を見てきてください。和室に

拙い話を申し上げましたが、今後とも会員の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、益々ご健勝で活躍されますことをご祈念申し上げます。

致します。

じた次第です。一生懸命働かせていただきます。どうか、よろしくお願いいたします。

今年度、野木小学校は全校児童七十九名です。「輝きのある野木の子」をめざし、「かしこく、やさしく、たくましく」を教育目標とし学校全体でチームとなつて進んできました。校長室には三色のチューリップが飾っております。赤色と黄色と空色です。子どもたちには、チューリップの花を見せながら、赤色の「あ」は「あいさつ」、黄色の「き」は「聴く」、「空色」の「そ」は「くつをそろえる」と話しています。「くつをそろえる」と心もそろう」と話す真面目に取り組み、一生懸命な様子を見せてきています。

今年も四・五年生は米作りを体験させていただきました。これも地域の方のご協力のお



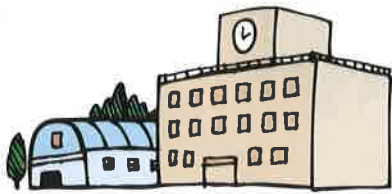
旧職員からの便り

たくさんの支えにありがとう

(平成21年度〜26年度)

下島 瑞恵

かげです。ブランド名は「野木かがやき米」です。六年生は、相杜神社や一言神社へ行き地域の方から学ぶことができました。野木のパンフレットを作り、修学旅行で野木のPRをしました。いろいろな活動を通して、ふるさとへの誇りを持ち、野木を大好きになつてほしいと考えています。野木小学校は地域に支えられたすばらしい学校です。わたしの心のふるさとです。今後ともご支援とご協力のほどをどうかよろしくお願いいたします。



今から九年前の四月、初めての若狭町、そして初めての小学校勤務・・・どんな学校なのだろう、どんな地域なのだろう、どんな子どもたちと出会えるのだろう、私の心の中には、期待もあつたが不安の方が大きかった。そして迎えた新任式。私の心の中のドキドキをワクワクでいっぱいにしてくれたもの・・・それは、体育館いっぱい響きわたる全校児童の校歌の歌声だった。私は野木っ子の歌声、そして歌う様子が魅了された。これから、このすてきな子どもたちと一緒に活動することに胸を弾ませた。町探検、ウサギの飼育、ハウスでの野菜づくり、さまざまな行事。子どもたちと一緒に活動がとても楽しかった。元気で明るく、

素直、そして何事にも一生懸命取り組む野木っ子とともに過ごすことができた時間は、私の中でかけがえのないものになった。

そして、その子どもたちとの活動を通して、家庭や地域の方々の大きな支えと温かさを感じる事ができた。地区との合同体育大会は、たくさんの地域の方々の声援とサポートをうけて、子どもたちのびのびと活動することができた。農家の仕事の学習をした際には、地域の農家の方々が何度もハウスの中を見せてくれたり、子どもたちの知りたことに答えてくださったりした。サツマイモ栽培や米作りでもたくさん支えていただいた。三世代交流会では、白と杵を用意しておもちつきを

し、みんなで食べた。昔の道具を集めて、祖父母の方々に昔の暮らしについてお話を伺ったこともあった。この交流会では、地域の三世代が、それぞれ知恵を活かして関わりが合うことができた。どの活動も、家庭や地域のサポートがあつたからこそ、子どもたちとともにたくさん学ぶことができたのだと思う。

野木っ子たちだけでなく、保護者の方々、地域の方々の関わりで、家庭、地域、学校が一体となつて子どもたちをサポートしていくことの大切さを改めて感じる事ができた。これからも、何事もあきた。これからは、何事もあたり前ではなく、背景に多くの支えがあることを心に留め、感謝の気持ちを忘れず教員生活を送りたいと思う。



旧職員からの便り

野木地区に感謝です

(平成9年度〜15年度)

島津 真喜雄

野木小学校の前を通ると、思い出深い学校であるからな今でも胸が熱くなります。私のでしよう。この原稿の依頼を受け、野木小学校に勤務していた時の



ことをもう一度思い出してみました。当時の学級だよりを読み直したり、写真を見たり。その頃の私はまだまだ若く、失敗ばかりでしたが、明るい児童や温かい地域の方々のおかげで楽しく勤務することができました。本当にありがとうございました。今振り返ると、野木には二つのすばらしいことがあるのではないかと思います。

一つ目は縦のつながりがし

っかりしているということ。私が勤務していたころ、Jリーグの影響で、昼休みは毎日サッカーでした。高学年の男の子が中心だったので、いつの間にか女の子も、低学年の子も交じっていました。普通なら、高学年の男子と低学年の女の子が昼休みと一緒にサッカーをするというのは考えられません。それがみんなで楽しく遊ぶことができるのです。高学年の子が低学年の子も楽しめるように上手に相手をしてくれていま

した。サッカー以外にもタイヤジャンケンをしたり、一輪車をしていたり、至る所で高学年、低学年関係なく遊んでいるのです。縦のつながりがしつかりできていた姿でした。これは、子供たちが住んでいる集落の中でもしっかりとした縦のつながりができている証拠でしょう。

二つ目は、児童の自主性が育っているということです。お便りを読み直してこんな記事を見つけました。四年

生を担任したとき、カラオケ大会に関する記事です。く学級会で話し合い、曲が「慎吾ママの学園天国」に決まりました。これに付け加えて、「島津先生の手助けをなるべく借りない。」ことにしました。「自分たちの力でどれ

だけできるかな…」と楽しみにしていました。休み時間の子供たちだけの練習で「先生、言うこと聞かない人がいるので見に来てください。」という話があったので、注意しに行きました。しかし、そのとき見に行つてびっくりし

ました。自分たちで振り付けを考え、大きな声を出し、元気いっぱい歌って、踊つてすることができているのです。「やる時はやるな。」と感心しました。

今思い返しても、小学四年生が自分たちで練習し、ステージ発表ができるのかと感心させられます。他にも

六年生を送る会やお楽しみ会などでも、自分たちのアイデアを生かした企画で楽しむことができました。児童の自主性や主体性が育つ地域だと感じました。

学校は地域の縮図です。このような素晴らしい学校であるのは、地域がしっかりとしているからでしょう。野木小学校で勤務できたこと、本当に幸せでした。ありがとうございました。



会員からの便り

思い出をひも解いて

第51回卒(昭和35年)

武生 福田 眞由美

野木小学校の講堂の外から見える場所に「輝きのある野木の子」のプレートが掲げられています。野木小学校で学んでいる子供たちが将来どこで生活していても、きつと輝いてくれます。

私が野木小学校を卒業したのが昭和三十五年ですので校舎も学校の周りもすっかり変わり思い出も頼りなくなりました。終戦後の少々落ち着いて来た頃でしたので、同級生は男十五名、女十七名の三十二名。学校ではまず朝の出欠確認です。神妙な顔で自分の名前が呼ばれるのを待ちます。いつも変わらぬ先生の声と呼ばれる順番。授業の始まりを知らせるのは、職員室の窓にぶら下げられた鐘。職員室の窓からは二宮金次郎

です。私は学校まで近かったので通学路の思い出はあまりありませんが、学校から帰ると上級生、下級生一緒になって暗くなるまで遊びました。缶けり、陣とり、かくれんぼなど楽しかったです。山も川も全部が遊び場所で、北川へ泳ぎに行くのですが、度々夕立に遭って走って帰ります。そんなときも上級生はしっかり下級生の面倒をみていました。冬の田んぼに雪が降ると、ていねいに踏み固めた道を何本も作りこちら側とあちら側から走って出会ったところでジャンケンをして勝負する。冬の田んぼは、どこまでも広く何とのびのびと遊べたことでしょう。願うのは、野木の豊かなこの自然を大切に守ってほしいと想います。



会員からの便り

思い出

第66回卒(昭和50年)

上野木 清水 正博

高校を卒業して三十六年ぶりに故郷の野木に帰ってきました。今回、投稿のご依頼を受けて同窓会誌を見ると野木小学校を昭和五十年卒業となっていました。あれから四十二年も経ってしまったのです。月日の経つのは早いものです。二十四名の同級生も地元で会うのは数人しかいませんが地元や各地でご活躍のことと思います。野木小学校周辺は随分変わってしまいました。立派な体育館、プール、そして広いグラウンド、当時の建物は唯一、耐震化された鉄筋コンクリートの校舎だけでしょうか。確か私たちが、一年生の時に木造校舎から鉄筋の今の校舎に引っ越したと思います。今の校舎の横には立派な体育館ができています

が、私たちの時は、体育館ではなく今の校舎の裏にあった木造の講堂でした。その講堂は瓦屋根だったせいか夏は涼しかったと思いますが、その反面、冬は冷蔵庫みたいに寒く、サッシもなかったことから、吹雪の日は雪が窓の隙間から吹き込んでいました。そんな講堂で、体育の時間や昼休みの時間に、軟式のテニスボールを打つ野球(当時は、「打って走るの」と言っていました)や卓球、ドッジボールをやったり、グラウンドでは夏はもちろん、冬でも雪の中で長靴を履いてサッカーをしたことが思い出されます。今の健康な身体と体力は、その時に養われたと思います。そんな古い講堂の正面には野木出身の中川平太夫福井県知事

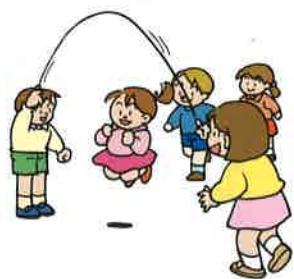
会員からの便り

思い出

第77回卒(昭和61年)

中野木 東 知子

の揮毫で「初志貫徹」の額が掲げられていました。確か朝礼の時に、校長先生からその四字熟語の意味を説明して下さったと思いますが、当時の私は意に介することはありませんでした。しかし、その文字は、私の頭の片隅に残り私の座右の銘として人生の岐路に立った時に何度も救ってくれました。今回の投稿の機会を得て、小学校時代を思い出し、小学校生活の六年間が私の人生の基礎を作ってくれていたことを発見することができました。ありがとうございます。機会があれば、小学校を訪れてあの額を見たいものです。



小学校時代の思い出をたどってみると、いくつもの情景が浮かんできます。

今のプール横にある遊具の場所に「あすなる」という畑があり、ナスやサツマイモなどの野菜を作っていました。確か班ごとに分かれていて水やり当番も決めて世話をしていたように思います。収穫の時特に覚えているのがサツマイモです。イモの弦を引いた後土を掘るところごろ出てくるのが楽しくて、宝探しの様な感覚で掘ったことを思い出します。

また、当時鼓笛隊があり五・六年生と四年女子で構成されていました。四年女子はバトンガールです。隊列を色々変え演奏しながら行進するのですが、行進しながらバ

トンを上に向けて取る技がうまく決まるかドキドキした事。それと少し得意な気持ちを感じています。

そして、放課後女子はソフトボール、男子は野球を上中の町の大会に向けて練習していました。休みの日の練習には監督さんからアイスクリーム差し入れがあつて、それが楽しみで練習を頑張っていた記憶があります。

あと、冬の餅つき大会、夏には学校でキャンプ、新設されたランチルームの壁に花を描いたこと、夢中になって読んだ江戸川乱歩の本等々。色々溢れてきますが、やはり一番心に残っているのは学校の登下校です。冬の凍てつく朝なんかは、田んぼも凍り付いて一面の銀世界。いつもの

道ではなくて、凍った田んぼの上を歩いて登校した時もありました。目も眩むほどのキラキラの中、非日常な世界に、もうそれだけでウキウキしたものです。帰りも今とは違い、

集団下校は月曜日と半日の土曜日だけだったように思います。ですから、帰りの長い道のりをいかに退屈せずに帰るか、自然と何かしら楽しみを見つけて帰っていたものです。

道すがら椿の葉っぱを笛にしたり、グミの実を食べたり(スミマセン)のどが渴けば玉置の中を流れる川の水を帽子ですくって飲んだり、石を順番に蹴つてどこまで行けるか挑戦したり…。それと、帰りに

欠かさずしていた事があります。それは、玉置のあるお地藏さんにお参りすることとお世話をすることです。いつから始めたのかは覚えてないですが、高学年になってから数年は続けたと思います。そし

て、たとえ一人でも欠かしませんでした。ある雪のたくさん降った日、お地藏さんも祠も雪で埋まっていました。何だか、「可哀想だな。」なんて思った事がきっかけで寒さより、満足が上回っていたことを覚えてます。小学校卒業まで続けたことは、達成感として残りました。

最後に、何より心に残る情景は地域の人たちです。道草しながら帰る道中、畑仕事をしているおじいさんや、おばあさんに「さようなら。」と





使っていた時期だったと思います。春には春の、夏には夏の、それぞれの季節に匂いがあり頬をなでる風にも季節を感じ、その微妙な季節の変わり目を肌で感じていたように思います。

今現在、自分の子供たちも野木小学校に通っています。

時代は変わっても子供たちもあの時の自分と同じ感覚を感じているんだろうと思います。また、私が小学校の時の担任の先生や中学校で授業を教えていただいた先生方が野木小学校の教頭や校長になられて、自分の子供たちをまたご指導して下さる…。その、時の流れとご縁を感じ感慨深いものがあります。学校の先生方をはじめ、地域の方々には子供たちを温かく見守っていて下さる事、ありがたく感じております。私自身も、子供たちも地域に育まれたと言っても過言ではありません。ただただ、感謝の気持ちで一杯です。今度は、微力な私ですが地域の為に何か貢献できればと思っております。

当時上野木にあった工場まで帰ってくると中からおばあさんが「お帰り。」と笑顔で迎えてくれた事を覚えています。「もう少しで家やあ。」という安堵感は今でも忘れられません。今から思い返すと、小学校時代は特に自然に触れる時間も長く、五感をフルに

会員からの便り

「野木の里で育って」

第91回卒(平成12年)

堤 中村知恵

私が野木小学校に入学したのは今から二十数年前。幼いころから小柄だった私には、野木小学校までの道のりはとても長く感じました。朝、近所の子たちと待ち合わせをして集団登校。六年生のお姉さんとはとても大きく、大人のように見えたことを覚えています。登下校は楽しいことがたくさん。野いちごを食べたり、川のカニを捕まえたり、冬の雪の積もった田んぼの中を走ったり。学校にみんなまで遅刻したことや、暗くなるまで家に帰らなかったことを思い出します。

習では、全員が一輪車に乗れるように休み時間に協力し合ったり、わからない勉強を教え合ったりが自然と出来る優しい友人たちに恵まれました。中学校や高校へそれぞれ進学して、新しい出会いがたくさんある中で耳にする野木小学校の友人の噂は、良い話が多く、それぞれ進む道は違っても、同じ野木の郷で育った「輝きのある野木の子」の活躍になんだか誇らしい気持ちになりました。

代には遊びに来てくれたこともあり、美味しい食べ物や豊かな自然に感動し、喜んでくれたことが私にとっても喜びでした。

豊かな自然に恵まれていることはもちろん、学校からの帰り道に会うと「お帰り」と声をかけてくださったり、「みんなでお弁当」とおすそ分けをいただいたり、家族だけでなく、温かい地域の方に見守られて成長してきたと感じています。地元を一度離れてみて、外から故郷を見ることで改めて良いところで育ててもらったと実感しています。

現在、私は若狭町に戻り、温かい職場の方々や地域の方々に支えて頂きながら働いています。少しずつ顔を覚えて

小学校での思い出はたくさんありますが、同級生の仲が良く、助け合うことが出来ていたクラスだったと思います。運動会の一輪車パレードの練

私は、県外に進学し、大学では様々な地域の友人ができましたが、地元の話になると、いかに自分が豊かな恵まれた環境で育ったかということに気付かされました。県外の友人達は私の話を聞いて、「行ってみたい」と言って学生時



ていただき、地域の方に声をかけていただけることをとても嬉しく思います。今後も、野木の里、野木の地域の方々、若狭町の方々に感謝の気持ちをもって、少しでも地域に貢献できるように日々を過ごしていきたいと思っています。

新成人からの便り

「料理を作る人になりたい」

第101回卒(平成22年)

中野木 武田三波



たじやがいの皮をむき、湯がいているときに、担任の西田先生に「上手！お母さんみたい！」と褒めてもらってとてもうれしかったことを今でも忘れられません。そのときに私はたくさんの人においていいと言ってもらえるような調理師さんになりたいと確信したので。

そんな私も気がつけば二十歳になっていました。私は今、施設で調理をしています。料理はとても難しいですがやりたい仕事ができている喜び、利用者さんにおいしいと言ってもらえることを励みに日々やりがいを感じながら働いています。しかし、仕事を終えて帰ると疲れたことを言い訳になにもせずに寝てしまえます。母はどんなに疲れていても必ず料理などの家事全般をこなしています。私ももう二十歳なのでもっと積極的に家でも家事などをしようと思いましたが。そしていつか母のような母になることが今の私の夢であり決意です。

私が小学校の頃の憧れた夢でした。そう思うようになつたきっかけが二つあります。まず一つ目は、私の母の存在です。母は調理師免許を持つていて料理上手です。昔から料理を作る仕事をしていて、私が小学校から帰宅すると母も魚をさばいたであろう少し生臭いエプロンを着けて帰宅します。「おかえり」と母のもとにいくとその生臭い臭いが一生懸命仕事をした証なん

だと小さいながらわかり、どこか心地よく感じていました。また、遠足などのお弁当は冷凍食品に頼らずとても豪華でした。毎日おいしい母の料理を食べて育った私はいつしか母のように料理が上手になりたいと思うようになっていたのです。そして二つ目は、小学校の時の学期ごとに行われるパーティーで作った「じゃがバター」です。自分たちで栽培し

また、休日の楽しみは友達

と思いっきり遊ぶことです。小学校六年間を共に過ごした同級生と今でも仲良くできて、いることが本当にうれしいし、すてきな仲間に出会えたと思っっています。夢を持って県外に出た仲間、私と同じように地元で働く仲間など、状況は様々です。そんな中でも時間を合わせて会いに行ったり仕事終わりに他愛ない話をしたり、また夏休みには毎年集まって花火をしています。みんなの近況報告を聞き、自分ももっとがんばらないと、と高め合える人達です。そんな仲間と共に成人を迎えることができたのは育ててもらった両親、お世話になった先生方、地域の方々のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、これからは何か恩返しができるように過ごしていきます。



児童作文

一年生



最近あった楽しかったこと

▼ すぐうでえをかきました。またきれいにいろいろなえをかいてみたいです。えをかくのがだいすきです。

つかもと みゆ

▼ けいろうかいで、こうかをうたったのがたのしかったです。みんなといっしょにするのはたのしいなとおもいました。

ひらた みく

▼ けいろうかいでは、大きなこえをだせました。おじいさんとおばあさんがよるこんでくれたので、よかったとおもいました。

かわら けいし

▼ けいろうかいのはっぴょうは、れんしゅうよりもじょうずにできました。おつかれさまのおいもパーティーで、うめジュースをのんでたのしかったです。

たけむら ふうか

▼ がっこうでおいもパーティーをしました。おいももつめジュースもおいしかったです。またみんなでパーティーをしたいです。

まあだ そなた

▼ がっこうでおいもを食べました。とってもおいしかったです。じぶんたちでつくったうめジュースも、とってもおいしかったです。

はしもと あゆ

▼ いえでバーベキューをしました。おにくや、ぼくがもつてかえたさつまいもをやいて食べました。おいしかったです。

うねの ようた

▼ ピアノきょうしつで、いろいろなゆびのおしかたをおしえてもらいました。はやくじょうずになりたいなとおもいました。

くらたに あおい

▼ おうちで、おりがみをおったり、えをかいたりしてあそびました。たのしかったです。

ふくい あいな

▼ ともたちとエンゼルランドにいったあつだったのでみずあそびをしました。そとであそんだあとは、なかであそびました。たのしかったです。

おかもと おうすけ

▼ ちくのみんなどあそびました。どろんこあそびをしたのがおもしろかったです。またあそびたいです。

たなか しほ

▼ ともたちのいえですごうくをしました。そのあと、ほかのともたちもさそっていっしょにそとであそびました。たのしかったです。

せいま つむぎ

二年生



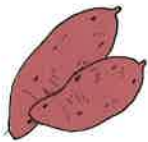
楽しかったおいもほり

はしもと しんのすけ

おいもほりをしました。おいもをほるとき、さいしよははしっこからほりました。もつてほつて、ぬこうとしてもむりだったから、もういちどはしっこをほりました。でもぬけなかつたから、いさおさんが大きいスコップでほつてくれたらとれました。とれそうなとき、とれんかつてくやしい気もちでした。おいもがほれたとき、うれしくてよかったです。

大きいおいもは、ぼくの顔ぐらい大きかったです。色はむらさきと、ちや色のうすい色でした。おいもは、おもたかったです。大きいおいもが二つついていました。かた手でもてるおもさでした。

おいもがどんどんとれていて、すぐほつているんだと思いました。いさおさんが手つだつてくれたからこんなにほれたんだと思いました。いさおさんが手つだいに来てくれるから、ぼくはうれしくなつてきます。たくさんおいもがほれてよかったです。



三年生



楽しい学校の行事

坂本 はじめ

ぼくは、学校の楽しい行事が大好きです。たとえば、春の遠足と体育大会と秋の遠足です。

まず、春の遠足は、みんなで歩いて、いろいろなところによりながら目的地まで行きます。歩きだところまで気づかなかつたところも見つかるので、とても楽しいです。めずらしい花やきれいな石を発見することもあります。ほかに、春の遠足は全校で行くので、ちがう学年の人と遊べて、なかよくなれます。だから、体育大会の時にもやく立ちます。次に、体育大会の種目の中で、ぼくが一番好きなのは玉入れです。なぜかというと、せいげん時間の二十秒の間に玉をたくさん入れるので、とても楽しいからです。それに、さいごに玉の数を数える時、とてもわくわくします。そのほかに、つな引きも好きです。引っぱったり、引っぱられたりして、自分のチームが引いているときは、とても楽しくてうれしいからです。

さいごに、秋の遠足は、春の遠足

とちがってバスで行きます。バスの中では、上の学年の人がしりとりやお笑いなどをしてくれるので、とても楽しいです。よいやすい人も、よいにくくなるので、一石二鳥です。

おべん当も楽しみです。自分のすきなおべん当を作ってもらって、家から持ってきます。みんなと食べるので、とてもおいしく食べられます。せっかくの遠足なので、おいしく食べたほうがいいですね。おやつも食べると、よりおいしくなります。

このように、学校の行事にはたくさん楽しい行事があります。楽しい行事があると、その日が楽しみになります。

みんなの大切な学校

すず木 あんず

わたしは、学校が好きです。理由は、みんながいるからです。みんながいると、とても楽しいからです。わたしが学校で一番楽しいのは、国語と給食と遠足です。全部、みんなですることです。

国語が大好きな理由は、読むことが大好きだからです。国語の教科書にのっている話では、とくにファンタジーが多いです。ファンタジーを読むと、想像力がどんどんはたら

きます。そして、みんなで学習すると、分からなかったことが分かったり、いろいろな考えを知ることができたりして、わくわくします。

給食が好きな理由は、ごはんがおいしいからです。もりさんとあべさんが心をこめて作ってくださっていると思うからです。私は三年生になってから、給食をあまりへらさなくなってきました。おいしさが分かってきたからです。ほかの理由は、みんなと食べる楽しい話ができるからです。わたしが好きなメニューは、カレーとデザートです。カレーの中の野菜がおいしいです。デザートはくだものやゼリーが出ます。季節に合ったデザートも出て、おいしいです。

遠足が好きな理由は、お母さんが作るおべん当がおいしいからです。その中でもおいしいのがたまごやきです。たまごを平べったくやいて、何重にも重ねるとおいしくなるからです。おべん当をみんなで食べると、もっとおいしくなって楽しいです。春の遠足は歩きで行ってつかれたけど、体力がついてよかったです。秋の遠足は、バスで行ったけど、バスの中で上の学年の人がゲームなどをしてくれれます。

このように、みんなで活動をする

とても楽しくなります。みんながいると、学校がにぎやかになります。ですから、みんなの大切な学校です。

楽しいよ、学校

もり山 わかな

わたしは、学校が楽しいです。その理由は、みんながいるし、一人であるときがほとんどないからです。わたしが学校生活の中で一番好きなことは、水曜日に読書ボランティアの方が読み聞かせをしてくださることと、給食を食べることと、算数で意味を考えることです。

毎週水曜日に、読書ボランティアの方が読み聞かせをしてくださります。わたしはファンタジーの絵本が好きなので、ファンタジーの絵本のときは、ワクワクします。読書ボランティアの方は、読み方が上手で、こわいときはこわくなるような声で、おもしろいときは楽しそうな声で読んでくださるので、わたしはお話を聞くのが大好きです。おかげで、本が好きになりました。

次に、給食が大好きです。野木小学校の給食は、とてもおいしいです。いつも感しゃして食べています。そして、みんなと食べたり、放送委員の人が音楽やしりとりやクイズをし

てくれたりするので、とってもおいしく楽しく食べられます。

さいごに、算数の意味を考えることが好きです。考えるときに、ときどきまちがえてしまっても、みんながはげましてくれたり、助けてくれたりするので、いつもがんばることができます。むずかしいときは、友達の見聞を聞いてさんこうにして、手をあげるようにがんばっています。

このように、学校はとっても楽しいです。みんながいるから楽しいです。また、学校に行っていないほいく園の人にも、「楽しいよ、学校。」と伝えたいです。

4年生



「私のおねえちゃん」

植野 瑠莉

私のお姉ちゃんは、中学一年生です。中学生になるとずいぶん変わりました。

一番大きく変わったのは、人前ではしゃべる時に声が大きくなったことです。小学校の時は、てれて声が小さくなっていました。中学校に行くのと部活があるから、いつも声を出しているの大きな声になれてきたのかもかもしれません。私も、お姉ちゃん

野木小学校の今年



4月6日 入学式



野木小学校体育館



5月11日 さつまいもの苗植え



野木小学校ビニールハウス

4月21日 交通安全教室



野木小学校周辺

5月18日 田植え



野木っ子農園

6月11日 体育大会



野木小学校グラウンド

6月7日 ガイ氏即興人形劇



野木小学校体育館

7月・8月 水泳学習・プール開放



野木小学校プール



9月29日 雲龍丸乗船体験



若狭湾



10月4日 若狭町小学校陸上記録会



三宅小学校グラウンド

10月13日 秋季遠足 (3・4・5・6年)



エンゼルランドふくい

10月13日 秋季遠足 (1・2年)



ぎのこの森

10月8日 敬老会&ふれ愛 in 野木



野木小学校体育館

6年生の自画像



勝見 瑠奈



岡本 咲良



大橋 花蓮



東 詩織



田中 美優



田中 美羽



滝 優一郎



高本 竜佑



東山 哲士



橋本 葵



塚本 哉蔵

編集後記

同窓会誌二十八号をお届けいたします。

原稿執筆をお願いいたしました皆様方には、お忙しい中にもかかわらず、快くお引き受けいただきました。おかげさまで、大変、内容のある会報に仕上がりに、心から感謝申し上げます。

会員の皆様におかれましては、今後とも、近況などを左記の住所、あるいは下記のアドレスまでお知らせいただければありがたく存じます。また、住所移転等がございましたらお知らせ下さい。

末筆ながら、会員の皆様の益々のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

福井県三方上中郡若狭町武生十五一七一
野木小学校同窓会事務局